

南蔵院住職による講話について

令和7年7月24日、鹿児島西署は、福岡県篠栗町に所在する南蔵院の林覚乗住職をお招きし、「警察の使命」と題してご講話をいただきました。

笑いあり涙ありの心洗われるお話に、聴講した職員からは、「警察官とは悪に強く、弱い立場の人に優しい存在であるべきと再認識した。」、「県民にとって警察官の階級は関係なく、困った時に助けてくれる、力になってくれる警察官が一番との話が印象に残った。」、「警察官として今やるべきこと、他にできることはないかを考えながら職務に当たりたい。」、「感謝の心を大切に、悩みや苦勞を乗り越えながら、常に警察官としての自覚を失わず、心豊かに生きていきたい。」など、強く感銘を受けたとの多くの声が聞かれました。

